



YMCA 大阪青年 1・2

2019年1月1日発行
1916年5月1日創刊
発行／小川 健一郎
編集／大阪YMCA広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

社会を良くするために「自ら考える力」を育む



新年あけましておめでとうございます。

2019年を迎えて、大阪YMCAは創立以来137年目の歩みを始めます。私たちは創立当時から目標を引き継いでいます。それは、「『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る」(2017年制定のブランドコンセプト・ビジョン)、当時の言葉でいうと「社会ノ道徳ヲ改良スル」(創立当時の大阪基督教青年会規則第2条)という私たちの目標です。

戦後、世界はアメリカとソ連による大国の冷戦を経て、人、モノ、資金のグローバル化が進みました。身の回りでは、純日本製のものは限られ、世界中の人々による生産活動やサービスに支えられて生活をしています。経済のみならず政治も国家を超えて相互依存する関係となりました。しかし、生活者である私たちはその実態を十分には理解しておらず、今朝飲んだコーヒーの生産者がどの程度の収入を得て、どのような生活を送っているのかわからず、想像することさえあまりあり

ません。国連総会で採択された持続可能な開発目標であるSDGsは、私だけが良くなるのではなく、社会を良くする活動を進めることを促進しています。

21世紀の複雑な社会は、学生時代に勉強したものとは異なります。課題解決においても、暗記して獲得した知識だけでは解決が難しくなっており、正解がない課題について自ら考えて挑戦していくことが求められます。文部科学省は、「多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探求心、知識、思いやりにとんだ若者の育成」を使命とする世界各国の大学入学資格も得ることができる教育プログラム・国際バカロレア(IB)の導入を推進しています。このIBの使命は、YMCAが提唱し、実践できている精神、身体、知性の均整の取れた全人教育に通じる考え方です。大阪YMCAは、グローバルなネットワーク、多様なリソース、IBの導入実績、インクルーシブ教育等に取り組んできた実績が評価され、2019

年4月より、日本初の公設民営の大阪市立水都国際中学校・高等学校の指定管理法人として運営を開始します。

「新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。」(イザヤ書43章19節)

YMCAはロンドンで誕生してから創立175周年を迎え、今年8月にはイギリス・ロンドンで式典が開催されます。大阪YMCAの乳幼児からシニア世代までを対象とした事業は、世界に広がるYMCA運動の一つです。変化の激しい年を迎ますが、神様に導かれた大阪YMCAは、ボランティア、国内外の企業や団体、そして行政と課題に向かい、力強く前進してまいります。



大阪YMCA
総主事
お がわ けん いち ろう
小川 健一郎

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、

希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

●ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。

●すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

●未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。

●生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。

●世界の人びと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で

公正な世界をめざします。

大阪YMCA大会 2018



新しい教育の形を体験！～Yアクターフォーラム～

体育・ユーススポーツ事業 スタッフ 山本 愛

今年のYアクターフォーラムは、「新しい教育の形とは？～Society4.0→Society5.0～」「無意識を具現化する」というテーマで約100名の方々が参加し、大阪市立水都国際中学・高等学校開設準備室の太田晃介スタッフと熊谷優一スタッフがワークショップを行いました。

全員にいろいろな色や形のレゴが配られ、参加者が与えられたテーマに沿って自由にレゴを組み立てるワークをしました。「タワー」をテーマにレゴを組み立てた時は、とにかく高く積み上げた方、アニメを想像した方、エiffel塔をイメージした方など、さまざまな形ができあがりました。他にも、「最悪の友人」や「2050年の学校」などのテーマがありましたが、ひとつとして同じものはありませんでした。このワークショップを通して、頭の中でイメージしたものを具現化する難しさや、自由に考える楽しさを感じました。また、なぜその形をイメージしたのか相手の考えを聞くことで、自分とは違う考え方を知ることができ、得るものもたくさんありました。

今までとは違う新しい教育に期待したいと思います。



「大阪YMCAアンバサダー」キックオフの会 ～新たなヒューマンネットワーク構築へむけて～

YMCA総合研究所 所長 末岡 祥弘

大阪YMCAは今、社会課題への新たな大きな挑戦に向かっています。それは全国初の公設民営中学・高校「大阪市立水都国際中学校・高等学校」を2019年度より運営することに始まり、21世紀型組織教育キャンプ「World Camp 2020」の開催などへと続いていきます。これらの挑戦を成功に導くにはコミュニティーやステークホルダーの方々、ボランティア、スタッフが新しいヒューマンネットワークを構築し、共にムーブメントを起こしていくことが必要です。

そこで、この度大阪YMCAの様々な活動に関わってこられた方々に



予定プロジェクト

- ◎IB教育(CAS活動)
- ◎World Camp 2020
- ◎キャンプサイトRedesign
- ◎全国Leader研修会2020
- ◎グランドリユニオンin Rokko
- ◎ユースエンカウンター 等

第2回アンバサダー集会は2019年4月に開催されます。大阪YMCAの新しい挑戦と新たなヒューマンネットワーク構築を、皆様応援ください。

Yボランティアの集い

Yボランティアの集いにおいて、以下の方々の表彰や留学生へのYMCA国際奨学金の授与式がもたれ、映像による事業報告や活動報告が行われました。

●永年継続会員

(敬称略・50音順)

長期にわたりYMCA運動に関わってこられた会員の方の表彰です。

【50年継続会員】

・伊藤 俊彦 ・加藤 寅尾 ・西村 耕 ・森 雅史

【25年継続会員】

・上野 純子 ・中本 和子 ・山地 和家子 ・吉田 清三

【10年継続会員】

・岩下 寛子 ・澤野 準司 ・高澤 由季 ・田川 加奈子
・野間 のぞみ ・長谷川 幸子 ・松野 匠子 ・美濃出 咲子
・吉田 誠二 ・吉田 由美 ・渡辺 宏子

●特別表彰

大阪YMCA国際専門学校 高等課程
表現・コミュニケーション学科 クラスボランティアのみなさま

●特別献金感謝

YMCAの様々な活動のために特別な献金をいただいた方々に感謝状を贈呈させていただきました。

・柴藤 滋子 ・鉢谷 明 ・玉米 由利子 ・柳樂 規美枝

第24回 6YMCA協議会 in 台北



体育・ユーススポーツ事業 スタッフ 雨堤 崇志

2018年11月5日(月)から9日(金)まで台湾の台北で開催された、第24回6YMCA協議会に参加しました。台北・ソウル・ホノルル・メトロポリタンシンガポール・香港中華・大阪の各YMCAが参加し、それぞれの取り組みの報告を行いました。各YMCAで実施しているプログラムや様々な事例についてなど、普段では知ることができない海外YMCAの課題や現状について学びました。

協議会では各YMCAが学びを深めたことはもちろんですが、「各YMCAスタッフの方々との出会い」が何よりも私の心を惹きました。とても温かく迎え入れてくださった台北YMCAの皆さんや、言葉がわからなくとも思いが伝わるように表現し、優しい笑顔の海外YMCAの皆さんから感じたホスピタリティなどに感動しました。

各YMCAの参加者は共に「友人」のように話し、時間を過ごしました。私自身も今回感じた高いホスピタリティを持ち、人との繋がりや広がりを強めていきたいと思います。



つどえ東山荘に！～すべての“Y”がつながる日～ 日本YMCA大会



2018年11月23日(金・祝)から25日(日)まで、YMCA東山荘(静岡県御殿場市)にて第20回日本YMCA大会が開催され、日本全国のYMCAよりユースからシニアまで約250名、大阪YMCAからもボランティア・スタッフ含め13名が参加しました。標記のテーマの下、参加者が想いや考えを共有したり、新たな考えを得たりする時間を持ちました。さまざまな「つながり」を体感した経験を参加者が持ち帰り、それぞれのYMCAで活かされ、社会でのYMCAの働きがより一層強められ活発になることを期待しています。

大会中には、日本YMCA同盟の表彰・感謝式が行われ、大阪YMCAからは以下の方が授賞されました。

【特別功労賞】

・池田 和弘 ・奥田 和弘 ・松岡 虔一

【青少年奉仕賞】

・清水 汎 ・小路 修 ・條 イサヨ ・則武 秀尚 ・望月 強

【50年継続会員賞】

・伊藤 圭介 ・伊藤 俊彦 ・北山 弘信 ・鳴岡 正明 ・西村 耕
・前出 孝子 ・森 雅史

【25年継続会員賞】

・上野 純子 ・中本 和子
・伏見 祐子 ・松本 三枝子
・三浦 直之 ・山崎 憲
・山地 和家子 ・吉田 清三



【25年勤続者賞】

・川良 昌宏 ・木田 泰之
・仲原 成岳 ・長谷部 一義
・樋上 恵一 ・山地 弘伸

「いじめのない世界をめざそう」 YMCAピンクシャツデー2019



今年度も海外及び全国のYMCAと共に、「いじめ」に自分事として向き合い、社会全体で解決をめざして共に考え、行動するためにピンクシャツデー(PINK SHIRT DAY)2019を実施いたします。

より多くの人々が意識的かつ継続的に「いじめ」の問題に取り組むための具体的な機会をつくり、同時に、各地域の諸団体・企業、行政などと協力、連携することによって、広く推進力のある運動を展開し、実効性ある対策へと繋げていきたいと考えています。

ピンクシャツデー当日 2月27日(水)に向けて、YMCA全体でピンク色のアイテムを身に着けたり飾ったりすることで、いじめ反対をアピールしてまいります。また、各事業所ごとにさまざまな啓発の取り組みを実施いたします。



皆さまのご協力、ご参加をお願いいたします。
詳細は、Facebookにて発信してまいります。

<https://www.facebook.com/ymcapinkshirtday/>

■ ピンクシャツデー
2019年2月27日(水)

※取り組み期間 2019年1月21日(月)～3月2日(土)



ピンクシャツデーとは

2007年、カナダでピンクのシャツを着て登校した少年がいじめられました。それを見た2人の生徒が50枚のピンクのシャツを友人・知人に配り、翌日登校します。学校では呼びかけに賛同した多数の生徒がピンクのTシャツを着て登校。学校中がピンクに染まり、いじめが自然とななくなったそうです。そのエピソードがSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の第4水曜日でした。それ以降、2月の第4水曜日には私たちもいじめについて考え、行動する1日としています。

中日本地区YMCA グローバル教育研修会



YMCAの活動がSDGsの達成を後押ししていく、その大きな役割を知るための研修会です。

- 日 時：2019年2月16日(土)13:00～17日(日)15:30
- 場 所：六甲山YMCAグローバルラーニングセンター
- 場 所：10,000円
(1泊3食、六甲山YMCAへの送迎バス代を含む)
- 講 師：山本 佳史さん(ソーシャルギルド代表)

問合せ 大阪YMCAグローバル事業推進室
TEL:06-6441-5088
申込締切:2019年2月4日(月)

健康コラム



健康を多角的に捉えるセミナーを開催しました！

いのぐち たけ し
体育・ユーススポーツ事業長 猪口 武志

2018年10月12日(金)に南YMCAにて、資生堂ジャパン株式会社・愛眼株式会社・大阪YMCAが合同で健康を多角的に捉えて、より良い日常生活を送ることを目的とした「Beauty&Healthセミナー」を実施しました。資生堂ジャパン株式会社からは「太陽光ケアと肌の健康」、愛眼株式会社からは「子どもの視力・目の健康」、大阪YMCAからは「スポーツと健康」についてそれぞれ講演し、南YMCAの青野さくらスタッフが全米エクササイズ＆スポーツトレーナー協会公認のダイエット&ビューティートレーナーとして、場所や時間を気にせずにできる軽運動の紹介とスポーツの本質を約90名の参加者へお伝えしました。

年々、健康寿命が伸びてきている中、幼児期からQOL(Quality of Life)を向上させる必要があるという考えに変わってきています。YMCAでは、今後もスポーツを健康のための一つの手段として捉えていただけるよう発信し、また、大人の方々を対象にしたこのようなセミナーを通じて、他団体の方々と協力して「よりよくなっていく」ことを推進してまいります。



大阪YMCA早天祈祷会

■ 第309回 日 時 … 2019年1月18日(金) 7:30～8:30

証 し…柳原 謙介さん
(大阪YMCA 紀泉わいわい村 スタッフ)

■ 第310回 日 時 … 2019年2月15日(金) 7:30～8:30

証 し…間 祐三さん
(元公益財団法人大阪YMCA評議員)

場 所… 大阪YMCA会館 10階 チャペル

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2018年11月度報告・敬称略

【新規会員】
石田 大樹
戎野 雄大
高橋 圭

【継続会員】
工藤 義正
露峰 由佳子
吉田 誠二
横田 憲子
吉田 清三

【継続賛助会員】
株式会社亀井組
有限会社杉本写真場
レッキス工業株式会社

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧いただけます。

